

進む温暖化と水産業ワークショップ 「水素燃料電池船、海藻養殖、洋上風力」



(一財) 東京水産振興会 HP
開催案内ページ

主催：海洋水産技術協議会

共催：(一財) 東京水産振興会、(一社) 漁業情報サービスセンター、
(一社) 全国水産技術協会、(公財) 海外漁業協力財団、
(一社) 海洋水産システム協会、(公財) 海洋生物環境研究所、
(一財) 漁港漁場漁村総合研究所、(一社) 水産土木建設技術センター、
(公社) 日本水産資源保護協会、(一社) マリノフォーラム 21

協賛：(株) 水産経済新聞社

日時：2026年5月28日(木) 14:00~16:30

場所：豊海センタービル 2階会議室(東京都中央区豊海町5-1)

開催形式：対面+オンライン(Zoom)

<プログラム>

1. 開会挨拶/趣旨説明 長谷 成人(海洋水産技術協議会議長/東京水産振興会理事)
2. 講演 司会・和田 時夫(海洋水産技術協議会/全国水産技術協会会長)
 - (1) 漁船における水素活用の取組について ~水素燃料電池漁船開発事業の概要~
平石 一夫 氏
(一社) 海洋水産システム協会会長
三好 潤 氏
(国研) 水産研究・教育機構 水産技術研究所 水産工学部 副部長
 - (2) 海藻養殖産業をまもり育てるために ~育種、種苗生産、大規模養殖~
佐藤 陽一 氏
(理研食品株式会社 取締役・原料事業部長)
 - (3) 海洋開発の沖合展開と漁業について~風力発電のこと CCSのこと~
長谷 成人 氏
3. 意見交換
4. 閉会挨拶 川口 恭一(海洋水産技術協議会顧問/全国水産技術協会監事)

<開催趣旨>

2026年冬の30年に一度といわれる大雪と少雨も気候変動が影響したとの指摘があります。二酸化炭素の排出削減などによる気候変動自体の緩和と、適地適作などを通じた気候変動に

ともなう変化への適応が、水産・海洋分野を含む各方面の共通課題です。今回のワークショップでは、まず、風力発電などで生産されたクリーンな水素を水産・海洋分野で活用する試みとして、水素燃料電池漁船の開発の経過と試験運用の状況についてお話いただき、ついで、コンブ養殖における海水温上昇への対策や、洋上風力発電施設との協調も期待されている大型海藻養殖の企業的養殖について展望いただきます。最後に、漁業との協調へ向けて関係者間の議論が進められている洋上風力発電について、二酸化炭素の海底下への圧入・貯留(CCS)の動きも含めて最近の状況をご紹介します。その上で、気候変動や関連する動きへ対処していく上での、取組みの方向や課題について、幅広く意見交換したいと思います。

<講師紹介>

平石 一夫 氏

一般社団法人海洋水産システム協会 会長。

1956年神奈川県生まれ。中央大学理工学部精密機械工学科卒業後、水産庁を経て現協会へ。漁業調査船、取締船などの設計・監督、漁船・水産業に関する調査研究および新技術の開発など協会事業に携わり、漁船関係の専門家として水産・船舶関係の会合などに参画している。

三好 潤 氏

(国研)水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・基盤部門 水産工学部 副部長

1972年岐阜県生まれ。北海道大学大学院水産科学研究科博士後期課程修了、博士(水産科学)。造船所に勤務の後、2007年(独)水産総合研究センター水産工学研究所(現:(国研)水産研究・教育機構水産技術研究所)に入所。曳航水槽、角水槽、回流水槽を用いた模型実験や数値計算による漁船工学研究に従事。漁船の省エネ、電化・水素化研究を推進している。

佐藤 陽一 氏

理研食品株式会社、取締役・原料事業部長。

2000年東北大学農学部、2002年同大学院農学研究科修士課程、2016年東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程修了、博士(生命科学)。農林水産省技官、東北大学助手を経て2005年理研食品株式会社入社。2009年より理化学研究所客員研究員、2018年より東北大学、宮城大学などでの非常勤講師を兼任。2025年5月より International Seaweed Association 日本代表理事。

長谷 成人 氏

1957年生まれ。1981年北大水産卒後水産庁入庁。資源管理推進室長、漁業保険管理官、沿岸沖合課長、漁業調整課長、資源管理部審議官、増殖推進部長、次長等を経て2017年長官。2019年退職。この間ロシア、中国、韓国等との漁業交渉で政府代表。INPFC、NPAFC(カナダ)、宮崎県庁等出向。

現在(一財)東京水産振興会理事、海洋水産技術協議会代表・議長。

<参加申込>

下記 URL の申込フォームより、お名前と所属、日中連絡の取れる携帯電話番号、メールアドレス、会場参加もしくは zoom での参加のどちらか等を記載の上、5月22日（金）までにお申し込みください。

参加申込フォーム

<https://forms.gle/mmdDbK9WXAemj8aZA>



参加申し込み受付後、日程が近づきましたら、申込者の皆様に事務局より zoom の URL をご案内いたしますので、当日時間になりましたらお入りください。なお、万が一 zoom URL が届いていない場合や、その他ご不明の点がありましたら、下記の事務局へお問い合わせください。また会場参加を希望される方は当日、会場にお越しください。

お問い合わせ先：info-museum@tkyfish.or.jp

(一財)東京水産振興会 振興部 (担当：松田)

申込期間

2026年

5月22日

まで

※当シンポジウム開催に関してご連絡する際に必要となりますので、電話番号とメールアドレスは必ずご記入ください。また、メールアドレスは今後、当会のウェブサイト「水産振興 ONLINE」の新刊情報やシンポジウムのご案内等で使用させていただきます。

※当日に撮影した画像は当会 HP や発行物で使用いたします。

<会場までのアクセス>



(一財)東京水産振興会ホームページにアクセスマップが掲載されています。

<https://www.suisan-shinkou.or.jp/about/access.html>



〒104 - 0055

東京都中央区豊海町 5-1 豊海センタービル 2階

- JR 東京駅・丸の内南口より
都営バス (都 04・豊海水産埠頭行)
- 東京メトロ東西線/都営地下鉄大江戸線の門前仲町
4番出口より都営バス (門 33・豊海水産埠頭行)
- 都営地下鉄大江戸線の勝どき駅 A3 出口より徒歩 10分